

「ブラチスラバ世界絵本原画展」と「田中^{いっそん}一村展 —千葉市美術館収蔵全作品」を同時開催します
～2年に1度開催する恒例の絵本原画展と、千葉ゆかりの人気画家田中一村10年ぶりの個展～

千葉市美術館では、企画展「ブラチスラバ世界絵本原画展 こんにちは！スロバキアとチェコの新しい絵本」および「田中一村展 —千葉市美術館収蔵全作品」を以下のとおり開催しますので、お知らせします。

開催にあたりまして、1月4日（月）15：00から記者の皆さまへの説明会を実施しますので、ぜひ取材にお越しください。

- 1 会期 令和3年1月5日（火）～2月28日（日）
※休室日 1月18日（月）、休館日 2月1日（月）
- 2 会場 千葉市美術館（中央区中央3-10-8）
- 3 主催 千葉市美術館

- 4 ポイント ◆「ブラチスラバ世界絵本原画展」とは
スロバキア共和国の首都ブラチスラバで2年ごとに行われる世界最大規模の絵本原画展「ブラチスラバ世界絵本原画展」（略称BIB）。千葉市美術館では、この原画展を2005年から紹介しており、本年は2019年に行われたBIB第27回展を紹介しま



「ブラチスラバ世界絵本原画展」展示作品
リュボスラウ・パリオ《僕の猫、タムタム》作家蔵
©Luboslav Palo

◆日本とスロバキア共和国、チェコ共和国100年

日本とスロバキア、日本とチェコは2020年に交流100周年を迎えました。このことを記念し、特集展示としてBIB2019スロバキア代表から7名、チェコ代表から6名の作家の絵本原画と近年両国で出版された多彩な絵本を展示します。

◆日本からの参加作品、制作に迫る特集も

日本はBIB第1回展から数多くの絵本原画を出品し、また多くの賞を受賞してきました。BIB2019ではきくちちきが『もみじのてがみ』で金牌を受賞されています。本展ではBIB2019に参加した日本代表作家による出品作品64点をもれなくご覧いただけます。また、出品作家のうち荒井良二、きくちちき、さかたきよこ、ザ・キャビンカンパニーの4組に焦点を当て、制作にまつわる資料や新作など創作活動の背景を特集します。

◆田中一村とは

田中一村（1908-77）は、千葉市に20年住んだ後、50代になって奄美大島に移住。亜熱帯の花鳥や風土を題材にした独特の日本画を描きました。2010年に市美術館で開催された大規模回顧展「田中一村 新たなる全貌」は大きな反響をよび、開館以来最大の入館者数を記録しました。

◆初期から晩年までの作品・資料約130点が一堂に

市美術館では、2010年の「田中一村 新たなる全貌」から10年の間に、100点を超える作品・資料の寄託・寄贈を受けました。2018年には田中一村最大の支援者であった千葉市在住の川村家より最後のまとまった資料の寄贈寄託を受け、本展はそれを記念して開催するものです。



「田中一村展」展示作品
田中一村《アダンの海辺》
個人蔵（千葉市美術館寄託）
©2020 Hiroshi Niiyama

- 5 観覧料 「ブラチスラバ世界絵本原画展 こんにちは！チェコとスロバキアの新しい絵本」
一般 1,000円（800円）、大学生 700円（560円）
※「田中一村展」との共通料金
「田中一村展 千葉市美術館収蔵全作品」
一般 600円（480円）、大学生 400円（320円）
※ 小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。
※（ ）内は前売券、市内在住65歳以上の方の料金。
※ ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18時以降は観覧料半額
- 6 関連イベント 展覧会に関連して、講演会やワークショップなどを開催。
- 7 その他 本展のチラシ別添

「ブラチスラバ世界絵本原画展」「田中一村展」披露説明会 開催概要

日時 1月4日（月）15：00から（美術館への入館は14：30以降となります。）
場所 千葉市美術館 8階展示室
内容 各展覧会や主な展示作品の見所について担当学芸員からご説明いたします。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

千葉市美術館 担当学芸員 松尾知子、山根佳奈
広報担当 磯野 愛
電話 043-221-2311
FAX 043-221-2316
E-Mail isono@ccma-net.jp